



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日  
上場取引所 東・福

上場会社名 株式会社ゼンリン  
コード番号 9474 URL <http://www.zenrin.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 善司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 松尾 正実 TEL 093-592-9050  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,010	△7.1	39	△98.5	225	△91.8	△250	—
25年3月期第2四半期	25,849	13.7	2,565	741.1	2,735	349.2	1,161	384.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 244百万円 (△81.1%) 25年3月期第2四半期 1,296百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△6.82	—
25年3月期第2四半期	31.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	52,121	37,426	68.2
25年3月期	56,376	37,663	63.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 35,556百万円 25年3月期 36,024百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	1.8	5,200	△6.9	5,500	8.3	2,500	36.2	68.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規一社(社名)一、除外一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	38,200,910株	25年3月期	38,200,910株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,435,293株	25年3月期	1,434,600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	36,766,053株	25年3月期2Q	36,767,125株

(注) 「野村信託銀行株式会社(ゼンリン従業員持株会専用信託口)」が保有する自己株式は、「期末自己株式数」には含めておらず、「期中平均株式数(四半期累計)」には含めております。なお、「期末自己株式数」に含めていない当該株式数は61,700株であります。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成25年11月15日(金)に当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(企業結合等関係) .....	12
4. 補足情報 .....	13
中期経営計画(ZGP2015)で区分した各事業の販売実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や政府の経済対策などを背景として、輸出や設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど穏やかな回復傾向で推移いたしました。また、海外では新興国経済の減速懸念や欧米経済の先行きに不透明感が拭えないながらも弱い回復が続いております。

このような環境の中、住宅地図データベースの販売は堅調に推移いたしました。国内外のカーナビゲーション用データの売上が減少したことなどにより、売上高は24,010百万円（前年同期比1,839百万円減少、7.1%減）となりました。

損益面では、減収に加え、データベース整備やスマートフォン向けサービス等に係る先行費用の増加により、営業利益は39百万円（前年同期比2,526百万円減少、98.5%減）、経常利益は225百万円（前年同期比2,510百万円減少、91.8%減）となりました。また、特別損益に固定資産除売却損益のほか、持分法非適用関連会社であった北京掌行通信息技术有限公司に係る関係会社株式売却損などを計上した結果、四半期純損失は250百万円（前年同期比1,412百万円悪化）となりました。

従来傾向では、当社グループの売上高は、季節的変動が著しく、第4四半期連結会計期間に売上が集中する傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （地図データベース関連事業）

当社グループの主力事業であります地図データベース関連事業につきましては、住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上は堅調に推移いたしました。しかしながら、国内カーナビゲーション用データの売上は、国内新車販売におけるエコカー補助金の反動減に加え、軽自動車へのシフトの影響や、カーナビゲーションの低価格モデルへの構成変化などにより減少いたしました。また、海外カーナビゲーション用データにつきましても、北米向け採用モデルの切り替え時期にあたったことなどにより売上が減少いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は20,458百万円（前年同期比1,709百万円減少、7.7%減）となり、セグメント損失は91百万円（前年同期比2,537百万円悪化）となりました。

#### （一般印刷関連事業）

一般印刷関連事業の売上高は1,888百万円（前年同期比28百万円増加、1.5%増）、セグメント利益は、原材料の仕入単価減少などにより26百万円（前年同期比65百万円改善）となりました。

#### （その他）

その他の売上高は1,662百万円（前年同期比158百万円減少、8.7%減）、セグメント利益は28百万円（前年同期比54百万円減少、65.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、ソフトウェアが744百万円増加した一方、未払費用や設備投資に関する支払い等により現金及び預金が4,016百万円減少したことや売上高の減少により受取手形及び売掛金が2,553百万円減少いたしました。これらの要因などにより、総資産は、前連結会計年度末に比べ4,255百万円(7.5%)減少し52,121百万円となりました。

負債は、支払い等により、買掛金が452百万円、未払費用が1,012百万円それぞれ減少したことや納税等により未払法人税等が1,430百万円減少いたしました。これらの要因などにより、負債は、前連結会計年度末に比べ4,019百万円(21.5%)減少し14,694百万円となりました。

純資産は、少数株主持分が231百万円増加した一方、剰余金の配当551百万円や四半期純損失を250百万円計上いたしました。これらの要因などにより、純資産は、前連結会計年度末に比べ236百万円(0.6%)減少し37,426百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.3ポイント上昇し、68.2%となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,034百万円(49.5%)減少し4,120百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が168百万円となり、売上債権の減少2,624百万円や減価償却費2,167百万円などの増加要因がありましたが、法人税等の支払額1,862百万円、未払費用の減少1,059百万円に加え、仕入債務の減少487百万円などの減少要因により332百万円(前年同期比3,439百万円減少)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出4,058百万円などがあったことにより4,028百万円(前年同期比1,981百万円増加)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額551百万円やリース債務の返済による支出423百万円などがありましたが、短期借入金の純増による収入720百万円などにより462百万円(前年同期比643百万円減少)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の当社グループを取り巻く経済環境等は、依然として先行き不透明な状況が続くと見込まれることから、現段階におきましては、平成25年5月8日に公表いたしました通期の業績予想は据え置くことといたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、INFOTRACK TELEMATICS PTE. LTD.の株式取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社及びその子会社であるINFOTRACK TELEMATICS PRIVATE LIMITED(平成25年8月5日付で、CERT INFOTRACK TELEMATICS PRIVATE LIMITEDより商号変更)を連結の範囲に含めております。また、連結子会社である大計数据处理(深圳)有限公司は、平成25年8月27日開催の董事会において解散決議を行い、清算手続中であります。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社が保有するゼンリンテクノセンター(北九州市戸畑区)は、平成26年9月を工事完了月として増改築を行っており、これに伴い、除却が見込まれる「建物及び構築物」の耐用年数を、当第2四半期連結会計期間より除却予定月である平成26年8月までの期間に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,267	4,250
受取手形及び売掛金	11,995	9,441
有価証券	51	—
たな卸資産	1,448	1,721
その他	2,501	3,106
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	24,256	18,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,367	4,198
土地	8,326	8,326
その他(純額)	2,822	3,539
有形固定資産合計	15,516	16,065
無形固定資産		
のれん	—	290
ソフトウェア	7,229	7,974
その他	3,316	3,301
無形固定資産合計	10,546	11,566
投資その他の資産		
投資有価証券	3,202	3,334
その他	2,965	2,776
貸倒引当金	△111	△133
投資その他の資産合計	6,057	5,978
固定資産合計	32,120	33,609
資産合計	56,376	52,121

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,472	2,020
短期借入金	1,869	2,639
未払費用	3,759	2,746
未払法人税等	1,797	367
役員賞与引当金	161	25
その他	4,462	3,050
流動負債合計	14,523	10,850
固定負債		
長期借入金	943	751
退職給付引当金	1,561	1,554
役員退職慰労引当金	133	127
その他	1,552	1,410
固定負債合計	4,190	3,843
負債合計	18,713	14,694
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,557	6,557
資本剰余金	13,111	13,111
利益剰余金	18,892	18,090
自己株式	△2,323	△2,212
株主資本合計	36,237	35,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	228
為替換算調整勘定	△341	△218
その他の包括利益累計額合計	△213	9
少数株主持分	1,639	1,870
純資産合計	37,663	37,426
負債純資産合計	56,376	52,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	25,849	24,010
売上原価	14,445	14,874
売上総利益	11,404	9,135
販売費及び一般管理費	8,838	9,096
営業利益	2,565	39
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	121	68
持分法による投資利益	—	6
不動産賃貸料	72	65
その他	110	90
営業外収益合計	311	239
営業外費用		
支払利息	16	13
貸与資産減価償却費	12	12
為替差損	5	20
持分法による投資損失	96	—
その他	8	7
営業外費用合計	141	53
経常利益	2,735	225
特別利益		
固定資産売却益	—	97
特別利益合計	—	97
特別損失		
固定資産除売却損	4	57
関係会社株式売却損	—	46
投資有価証券評価損	23	2
関係会社株式評価損	—	29
事業再編損	—	18
ゴルフ会員権評価損	8	—
特別損失合計	35	154
税金等調整前四半期純利益	2,700	168
法人税、住民税及び事業税	1,230	453
法人税等調整額	△53	△275
法人税等合計	1,176	178
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,523	△9
少数株主利益	361	240
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,161	△250

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,523	△9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	132
為替換算調整勘定	8	162
持分法適用会社に対する持分相当額	△116	△40
その他の包括利益合計	△226	254
四半期包括利益	1,296	244
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	934	△27
少数株主に係る四半期包括利益	361	272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,700	168
減価償却費	1,819	2,167
のれん償却額	32	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	△135
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	23	2
関係会社株式評価損	—	29
ゴルフ会員権評価損	8	—
受取利息及び受取配当金	△127	△76
支払利息	16	13
持分法による投資損益(△は益)	96	△6
固定資産除売却損益(△は益)	4	△40
関係会社株式売却損益(△は益)	—	46
売上債権の増減額(△は増加)	1,678	2,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	△305	△261
仕入債務の増減額(△は減少)	△154	△487
未払費用の増減額(△は減少)	△294	△1,059
未払消費税等の増減額(△は減少)	△162	△240
その他	△77	△602
小計	5,162	2,132
利息及び配当金の受取額	127	75
利息の支払額	△17	△13
法人税等の支払額	△1,500	△1,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,772	332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	100	—
有形固定資産の売却による収入	0	102
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,049	△4,058
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△126
子会社の自己株式の取得による支出	△107	—
その他	9	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,047	△4,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10	720
長期借入金の返済による支出	△259	△204
リース債務の返済による支出	△347	△423
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	105	103
配当金の支払額	△550	△551
少数株主への配当金の支払額	△44	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	615	△4,034
現金及び現金同等物の期首残高	6,926	8,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,542	4,120

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	地図データベース関連事業	一般印刷関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,168	1,860	24,028	1,821	25,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	123	152	85	237
計	22,197	1,983	24,180	1,906	26,087
セグメント利益又は損失(△)	2,445	△39	2,406	83	2,489

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品販売、CAD受託処理及びインターネットを中心とした広告配信などの事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,406
「その他」の区分の利益	83
セグメント間取引消去	76
四半期連結損益計算書の営業利益	2,565

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	地図データベース関連事業	一般印刷関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,458	1,888	22,347	1,662	24,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	137	174	94	268
計	20,495	2,026	22,521	1,757	24,278
セグメント利益又は損失(△)	△91	26	△65	28	△36

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品販売及びCAD受託処理などの事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△65
「その他」の区分の利益	28
セグメント間取引消去	76
四半期連結損益計算書の営業利益	39

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（耐用年数の変更）

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社が保有するゼンリンテクノセンターの増改築工事により除却が見込まれる資産について、当第2四半期連結会計期間より、耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント損失が、「地図データベース関連事業」で20百万円悪化しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「地図データベース関連事業」において、INFOTRACK TELEMATICS PTE. LTD. の株式取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社及びその子会社であるINFOTRACK TELEMATICS PRIVATE LIMITEDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては290百万円であります。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 INFOTRACK TELEMATICS PTE. LTD.（所在地：シンガポール）

なお、被取得企業の株式取得に伴い、同社の完全子会社であるINFOTRACK TELEMATICS PRIVATE LIMITED（所在地：インド）についても、当社の子会社となります。

事業の内容 運輸・物流業に向けた動態管理サービスの提供

(2) 企業結合を行った主な理由

インド、東南アジア及び中東で、動態管理サービスの事業展開を行うことを目的としております。

(3) 企業結合日

平成25年6月28日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

63.1%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社である㈱ゼンリンデータコムが、現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年6月30日をみなし取得日としておりますが、連結決算日と被取得企業の決算日との間に3ヶ月の差異があるため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	397百万円
取得に直接要した費用	4
取得原価	401百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

290百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

4. 補足情報

中期経営計画(ZGP2015)で区分した各事業の販売実績

(事業区分)	25年3月期 第2四半期 連結累計期間 (百万円)	26年3月期 第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	主要な製品
広告事業	326	317	△8	△2.5%	各種メディア
出版事業	3,715	3,548	△167	△4.5%	住宅地図帳、応用地図、 仕入商品
GIS事業	4,197	4,457	259	6.2%	住宅地図データベース
ICT事業	6,819	6,739	△80	△1.2%	スマートフォン・携帯向けサービス、 インターネットサービス向け地図 データ提供
ITS事業	5,951	4,986	△965	△16.2%	国内カーナビゲーション用データ
グローバル事業	1,663	1,059	△604	△36.3%	海外カーナビゲーション用データ、 各種海外コンテンツ
その他事業	3,174	2,900	△274	△8.6%	一般印刷物、CAD受託処理、 セールスプロモーション商品等
合 計	25,849	24,010	△1,839	△7.1%	